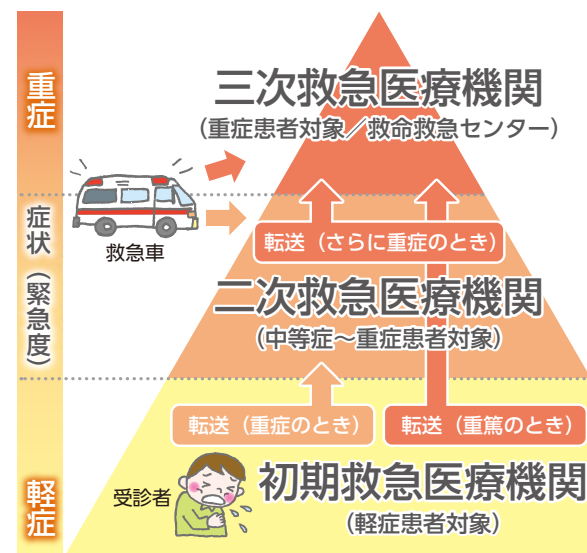


「釧路市休日夜間急病センター」の適正な利用について

救急医療機関の役割を正しく理解し、緊急に治療を必要とする人が早く適切な医療を受けられる環境を皆で作しましょう。

問合せ先 市役所健康推進課 (☎31-4524)



内科・小児科に係る初期救急医療機関である「釧路市休日夜間急病センター」は、夜間や医療機関の休診日（土曜日の午後、日曜日、祝日）に体調が悪くなった場合、応急処置や緊急性に応じ手術や入院のできる病院を受診する必要があるかの判断をすることを目的としています。インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症が疑われる場合、原則、検査は行わず、症状に応じた必要な処置や処方を行います。

内科・小児科に係る初期救急医療機関である「釧路市休日夜間急病センター」では、専門医による診療ではありませんので、担当した医師が重症と判断した場合には、二次救急・三次救急の医療機関へおつなぎします。

受診の際は、必ず事前に電話してください。

☎44-6776

※看護師が症状を伺った上で、ご案内します。

詳しい施設案内はこちら



	受付時間	診療時間
夜間(毎日)	午後6時30分～翌午前6時30分	午後7時～翌午前7時
土曜日(午後)	午後1時30分～4時30分	午後2時～5時
日曜日、祝日(日中)	午前8時30分～午後4時30分	午前9時～午後5時

外科の初期救急医療体制について

市内の外科医療機関が当番制で診療を行っています。

- 夜間（毎日）診療時間／午後6時～翌午前9時
- 土曜日（午後）診療時間／正午～午後5時
- 日曜日、祝日（日中）診療時間／午前9時～午後5時

新たな地方創生のための市民アイデア募集の結果について

問合せ先 市役所企画課企画係 (☎31-4502)

新たな地方創生のための市民アイデア募集について、たくさんのご提案をいただき、ありがとうございました。集計結果について報告します。

アイデア募集の概要

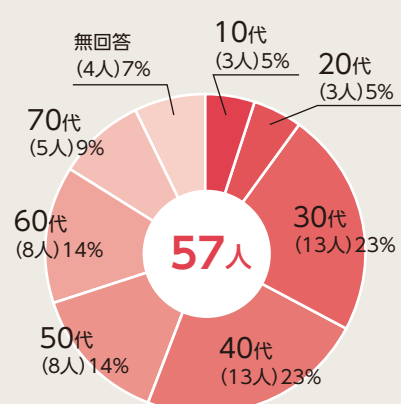
- ▶募集期間／3月3日～4月11日
- ▶募集方法／WEB上の応募フォームで募集
- ▶周知方法／市ホームページ、Facebook、フェイスブック、公式LINE、広報くしろ4月号
- ▶応募件数／82件（応募者数57人）

応募件数は57人、82件となり、年齢別では、18歳から76歳まで、幅広い世代の方にご提案をいただきました。中でも30代、40代からの意見が多く、それぞれ23%となりました。

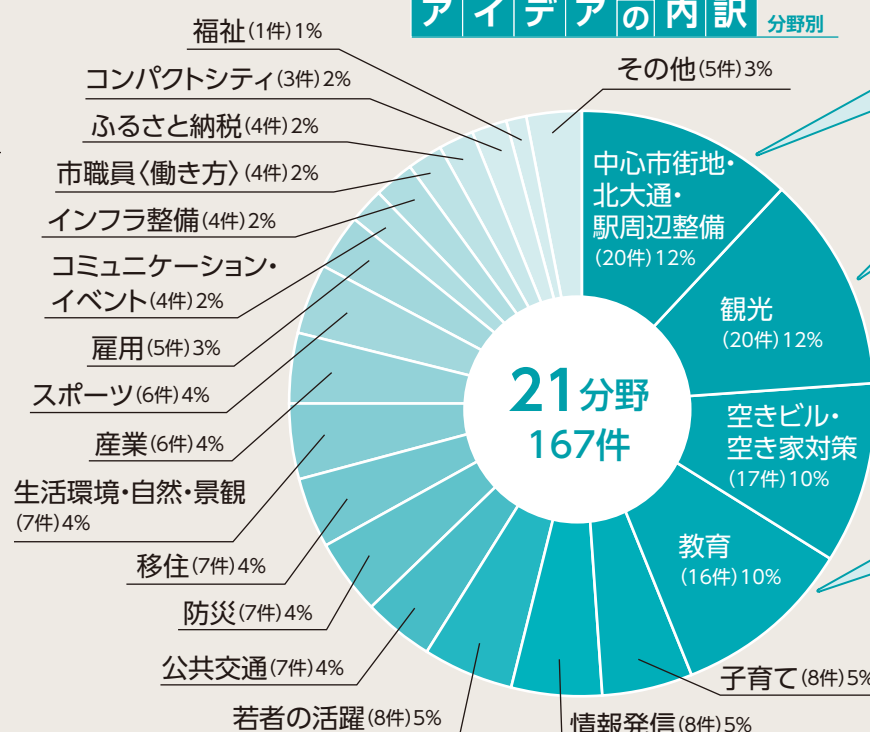
分野別では、21分野、167件となり、中心市街地・北大通のにぎわい作りに関する事、および観光に関する事が20件と最も多かった他、空きビル対策、教育に関するご提案を多くいただきました。

皆さんからのアイデアについては、今後の地方創生に係る施策展開の参考とさせていただくとともに、実現可能なものは、事業構築の際の検討、あるいは、事業化の可能性を検討していきたいと考えています。

提案者の内訳 年齢別



アイデアの内訳 分野別



駅前（北大通）に娯楽施設や総合ショッピング施設を誘致する。

海外メディアの記者を招聘し、メディアツアーを実施してインバウンドを道東へ誘致する。

北大通の補修が可能なビルを若者や新規事業者に格安で貸し出し、最低限の予算でチャレンジができるようにする。

まち作りやにぎわい作りに、計画段階から今後を担う児童を参加させてほしい。

子どもを遊ばせる室内遊戯施設が少なすぎる。広い年代が遊べる施設が必要。

※分野別の集計について、複数分野にわたるアイデアは複数の分野でカウントしています。内訳の合計とアイデア件数の合計は一致しません。

※上記アイデアの他、募集結果やアイデアの全文など、詳細はホームページをご覧ください。(☎<https://www.city.kushiro.lg.jp/shisei/shisaku/1006996/1016067.html>)

